

# 事務局

38号  
6月

町会名変更しました

- (旧名稱) 国道寺町々会 → (新名稱) 本町中央町会
- 駅前通り町会 → 駅前新町々会
- 青柳一丁目町会 → 蛸貝町会
- 大坂町々会 → 港町々会

## 定時総会雑感

五月二日開催 出席会員二六〇名 来賓市長始め六名

分担金改訂に論議が集中したが主な発言は値上げに反対だ。人件費増額には賛成だが他は反対だ。小きごみに上げてはどうか。臨時総会で改めて賛否を問うべきだ。各部会の会議内容を説明せよ。

桜川団地町会の紛争について同じ傾向が他町会にもあり連合会として手を打っているか。交通事故防止コンクリートの審査はどうやっているか。

分担金問題 執行部会で三回、理事会でも議論を得ており総務部会でも承認、各町会には事務局より28号が送られており、今後は「たより」と丁寧に行うことだ。

桜川団地町会のこと、双方の事情を言っているが、若谷副会長が現地へ行って話し合いをすすめている。結局、原案通りに決定したが、時間の浪費にせよとせうして帰る者多く、町会の頃は半分以下になった。あとで帰った方(理由を言わない)は、おれからしくなつた、と答える人が殆どであった。それでも、おれのように来賓に噛みつく者が、おれに比べても向上したのかもしれない。最も議事に入る前、来賓にはお帰りを願っている。新聞社へは、今おて案内状にしたことがないが、居合わせた記者の一人に、

これでは定数を欠くのではないかといわれてヒヤリとした。自己中心のミソク口な視野は、総会以外に於いてはいいものである。臨時総会とつたら執行部理事の面目がた、おれなる、理事はもっと積極的指導的な発言があるともよいと思う。

(総会費決算)

議席	41,800
酒	88,000
印刷費	157,500
電報	22,560
電話	83,000
お茶	52,800
記念品	21,000
名刺	180,000
資料	14,200
雑費	20,000
印刷	32,000
花	3,000
会場	12,000
手紙	5,000
その他	14,200
合計	762,060円

## 分担金と総会費と(市の支村金)

昭和五十年年度分担金額 五十二万円 事務委託費  
総会費 八十五万円 二七〇万円

昭和五十三年年度 分担金額 一〇〇万円 事務委託費  
総会費 九〇万円 三〇〇万円

昭和五十四年度 分担金額 二〇〇万円 事務委託費  
総会費 七十六万円 三〇〇万円

他都市の例とみると分担金が経営の主な基礎となつて市からの交付金が従となり分担金より少くはなっているが、青森市の場合は交付金に不足している収入の割に総会費の多いのも問題点の一つである。事務委託費は、毎年市と契約を結ぶ、市からの文書事務、町に付する交付金で市からの文書が各町会へ円滑に達しないようであれば契約違反となり取消しされることになっている。

## 春の全国交通安全運動決起大会パレード参加

五月十一日、県庁前に集合、連合会旗を先頭にパレード実施。その後の部会の話し合いでは、次カニとが話題となった。

県庁、市役所の職員も各課から何名かずつ参加してはしい。

各地区各にパレード実施してほしい。連合会旗のマークだけはわかっぬ人もあるので記名した旗がほしい。(早速注意済)

## 執行部会から 5/24

連合会の方々の組織の整備

現在理事選出の母体である地区協議会は、社会福祉協議会の組織で、しかも会長が町会長で、町会長もあつて不合理な面が多い町会数かふさぐと地区毎の行事が多く期待されるようになる。

規定では地区協議会の設立は任意であるが、義務づけるようにしてはどうか、何れ理事会に届かして意見をたくさんにした。

## 弘前市町会連合会との意見交換会

五月三十日、午後一時、場所、弘前市役所会議室  
出席者、香森側、若谷貞作、成田勝美、佐藤事務局長  
弘前側、副会長、若谷貞作、町会長、市職員  
内容の詳細は次号で紹介します。 十名

七ツ目もの (五月勤続町会長の記念品) (かたじけなくて、冬、手袋(茶色))

ねむたにさきかけ、まに宮の季がく、年々歳々われらの郷愁をくすくすしてくれぬ。ガ天灯もまじり祭りのアツせんべい。(カフお)